

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月20日(木)

事務事業		消防水利整備事業		担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52121
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	消防法				
	小項目	2	消防・救急体制の充実						
	主要プロジェクト								
事業概要		市民の生命、身体及び財産を火災から守るため、消防水利の整備及び危険因子のある消防水利の撤去等を行い、有効な初期消火及び消火活動ができるよう消防力の充実強化を図るものである。							
目的 ※何のために		消防力の充実強化を図るため							
対象 ※誰・何を対象に		消防水利							
手段 ※どのように		整備及び撤去等を行う。							
成果 ※何を求めるか		安定的な消防水利を確保し、市民の生命・身体及び財産を火災から保護する。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を 構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	消防水利整備事業	30,835,388
本事業の 主な業務	・ 消防水利設置工事							・	
	・ 消防水利の維持管理							・	
	・ 防火井戸等取壊工事費補助金の交付							・	
	・ 消火栓布設替工事負担金の支出							・	
	・ 消火栓維持管理費負担金の支出							・	
	・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		消火栓設置工事負担金	消火栓設置工事負担金				
事業費	予算(現額)	41,713,000	32,687,000	31,788,000	29,243,000		
	決算額	41,374,634	30,835,388	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	6,548	0		
		一般財源	41,374,634	30,828,840	31,788,000	29,243,000	
人件費	従事職員数(人)	0.75	0.70	0.70	0.70		
	人件費相当試算※	5,902,168.00	5,607,116.00	5,852,630.00	5,852,630.00		
総事業費試算		47,276,802	36,442,504	37,640,630	35,095,630		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	消防水利設置数		目標値	基						
			実績値		13.00	9.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開発行為に伴う消防水利の設置もあるため、目標値の設定はできない。/設置数						
	実績値の算出式									
活動指標 2	消防水利の修繕基数		目標値	基						
			実績値		3.00	2.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			修繕回数が多ければよいものではないため、目標値は設定できない。 / 修繕実数						
	実績値の算出式									
成果指標 1	市街地・準市街地における消防水利の充足率		目標値	%	67.70	72.10	72.10			
			実績値		72.10	72.10				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度実績が目標値 / 現有数／基準数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	消防水利の稼働率		目標値	%	100.00	100.00	100.00			
			実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			常に使用できる状態に保つことが目標値 / 稼働水利／総水利数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	消防水利 1 基あたりに係る維持管理経費		目標値	円						
			実績値		13,538.60	10,462.96				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防水利の修繕等により管理費が増減するため目標値は設定できない / 総事業費／総水利数（公設）						
	実績値の算出式				公設 3 4 9 2	公設 3 4 8 3				
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	開発指導要綱に基づく適正な指導により消防水利を設置した。また、水利調査結果から修繕が必要な消防水利の修繕を行い、維持管理の徹底を図った。 設置年及び設置者不明の貯水槽（消防水利登録なし）について、地権者を調査し管理権限を明確にした。無蓋の貯水槽周囲の安全柵の点検を行い、危険箇所の修繕を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	消防水利の不足地域に消火栓を設置したことで、消防水利の充足と消防力の充実強化が図れた。 また、消防水利の修繕など維持管理を適切に行い、稼働率を維持した。老朽化が著しい防火水槽については、機能を停止し撤去に向けた事務を進めることができた。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	環境水道部で実施する老朽管工事に伴う消火栓の布設替えや、開発指導などにより効果的に消防水利を設置できた。 水利マップの定期的な更新を行うとともに、消防施設設置届出のオンライン化を構築し利便性の向上が図れた。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	老朽化の著しい消防水利の撤去について、関係課に事務を引き継ぐための測量業務委託事務を進める。消防水利未登録である貯水槽について、管理権限を明確にするため設置場所及び土地所有者等の調査を進め、危険な貯水槽には応急的な安全対策を講じる。 また、消防施設設置届出書について、電子での届出システムを構築しペーパーレス化を進める。
達成状況及び その効果	老朽化の著しい消防水利の撤去について、関係課に事務を引き継ぐため上柴第一団地西側貯水槽敷地の測量業務委託事務を進めた。消防水利未登録の貯水槽について、調査により管理権限を明確にできた。危険な貯水槽については応急的な安全柵を講じた。また、消防施設設置届出書について、電子での届出システムを構築しペーパーレス化を図った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防水利整備事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52121
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div>		評価の内容説明					
		消防水利は、消火活動に必要不可欠であることから、維持管理の徹底を図るとともに更なる消防力の充実強化に努めなければならない。 老朽化が著しい一部消防水利について、引続き近隣の水利設置状況等を鑑み適切な対応（修繕、撤去）を講じていく必要がある。 また、消防水利として登録されていない老朽化した無蓋の貯水槽について、地権者調査の結果に基づき、安全柵の修繕や撤去に伴う事務を進める必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼警防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	藤沢地区の消防水利未登録である無蓋の貯水槽について、設置場所、土地所有者及び老朽化等の調査結果に基づき、市有地のものについて安全柵の修繕や撤去事務を進める。 私有地の貯水槽については、地元自治会長を通じて危険性の周知や安全対策の依頼、補助金を活用した取壊しの提案をする。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	藤沢地区の水利登録未登録である無蓋の貯水槽について、安全柵の定期的な点検、必要に応じた安全柵の修繕を継続実施するとともに、撤去に係る予算を確保する必要がある。

8. 評価指標グラフ

